歩行車（CCTA コード　１２０６０６）

ウォーキー取扱説明書

このたびは、ウォーキーをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
本製品のご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。
また「取扱説明書」は必要なときに取り出しやすい場所に保管してください。
使用環境や使用者の身体状況が変化した際には再度お読みください。

目　次

コード No.2012.05

安全にお使いいただくために

使用上の注意

●ウォーキーは使用者自身の歩行を補助する為のものです。用途以外の使用はしないでください。
●自力で歩行できない方は使用しないでください。
●ハンドル操作及びブレーキ操作ができない方は使用しないでください。
●歩行の際は必ずハンドルグリップを持って使用してください。
●使用者に合ったハンドルの高さに調節してからご使用ください。
●砂、泥、水たまりなどのある場所での使用は故障の原因となりますのでおやめください。
●交通量の多いところ、混雑しているところ、また夜間の使用はできるだけ避けてください。
●踏切などの溝を越える際は、前輪キャスターを挟み込まない様に前輪を上げて操作してください。
●フレームの組み立て及び折りたたみの際に指を挟まないよう注意してください。

 警告　この表示項目を守らずに誤った取扱いをすると重大な事故につながり、使用者が重傷を負う恐れがあります。

 注意　この表示項目を守らずに誤った取扱いをすると使用者が傷害を負ったり、物的損害をこうむる恐れがあります。

1.歩行の際について

警告

●バスケット以外のところに荷物を載せたり、ハンドルに吊り下げますと、バランスを崩し転倒する恐れがありますので、絶対に避けてください。

●バスケットに乳幼児を乗せたり、座面に人を乗せたまま歩行しないでください。
バランスを崩して転倒し、ケガをする恐れがあります。

●雨や雪、風の強い日、凍結している道、滑りやすい場所でのご使用はバランスを崩し転倒する恐れがありますので、絶対に避けてください。

●座面に立ち上がったり、踏み台代わりにご使用になりますと非常に危険ですので絶対にしないでください。バランスを崩し転倒する恐れがあります。

●傘をさしながら、または片手に荷物を持ちながら、片手ハンドルでの歩行はしないでください。バランスを崩し転倒する恐れがあります。

●背ベルトを持って立ち上がったり、背ベルトを持ったまま使用しないでください。
過度な力が繰り返し加わると、亀裂などに発展しベルト破断による事故につながる恐れがあります。

●ハンドルの高さは目盛りの範囲内でご使用ください。

●折りたたみロックがしっかり固定されていることを確認してください。

注意

●小さな凸凹や段差のある路面を歩行する際は、前方に転倒しないように前輪を上げて操作してください。

●使用中に身体を乗り出すなどして、安全性を損なうことのないように操作して下さい。

●バスケットには軽い小物のみを入れてください。（Ｓ：7㎏以内　Ｍ：10ｋｇ以内）

●ブレーキを握った状態、ならびにブレーキロックをした状態のままで歩行しますと、タイヤが異常にすり減って危険です。このようなご使用は避けてください。

2.座る際について

 警告

●座る際は、ブレーキが完全にロックされた状態で車輪が動かないことを確認してください。また、立ち上がる際にもブレーキが完全にロックされた状態で車輪が動かないことを確認してください。車輪が動くとバランスを崩し、転倒する恐れがあります。

●ブレーキがロックされた状態でも背ベルトにもたれないでください。背ベルト破損やブレーキロックが解除される恐れがあります。

●ブレーキがロックされた状態でも背ベルトに寄りかかるような座り方をしないでください。車輪が滑って転倒する恐れがあります。

●坂道で腰をかけると大変危険です。バランスを崩し転倒する恐れがありますので、絶対にしないでください。

●座面に座った時、本体を動かさないようにしてください。バランスを崩し転倒する恐れや本体の偏った場所に過度な力が加わり破損につながる恐れがあります。

●ブレーキロックが効いた状態でも、ハンドルの片側に寄りかかって座ると車輪が滑って転倒する可能性があります。両手でハンドルをしっかり持ち、中央にお座りください。

●立ち上がる際にハンドルの片方だけに体重をかけると転倒する恐れがあります。
両方のハンドルにバランスよく体重をかけ、ゆっくり立ち上がってください。

3.保管・搬送の際について

警告

●背ベルトに過度な力が繰り返し加わると、傷、割れ、亀裂などに発展し、ベルト破断による事故につながる恐れがあります。

注意

●背ベルトに過度な力が繰り返し加わると、傷、割れ、亀裂などに発展し、ベルト破断による事故につながる恐れがあります。梱包する際は必ず背ベルトを取り外してください。

各部の名称

背ベルト

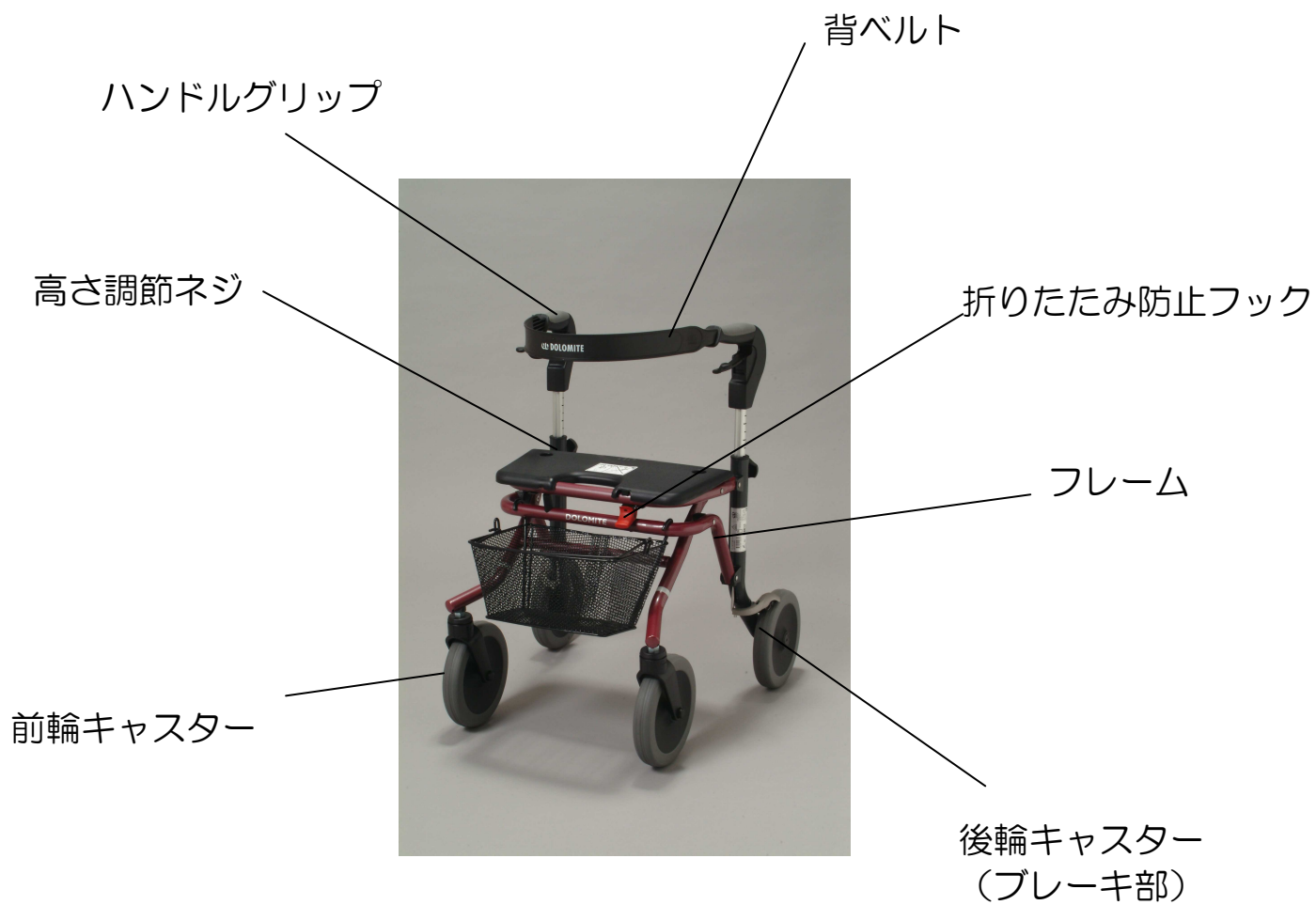
ハンドルグリップ

高さ調節ネジ

折りたたみ防止フック

フレーム

前輪キャスター

後輪キャスター
（ブレーキ部）

●付属品

バスケット

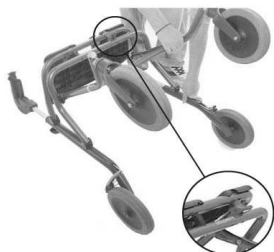
背ベルト

専用工具

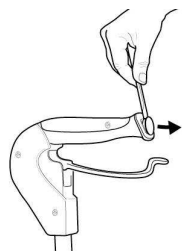
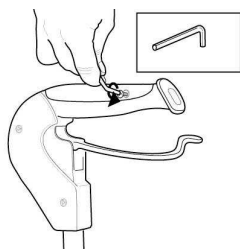
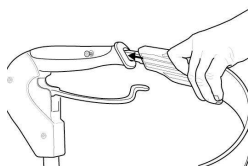
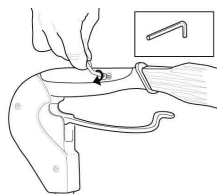
組み立て方

●フレームの組み立て

①箱から本体を取り出し、後輪側横フレームを押さえながら
内側フレームを引き上げて下さい。

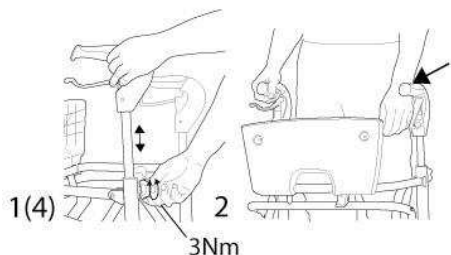
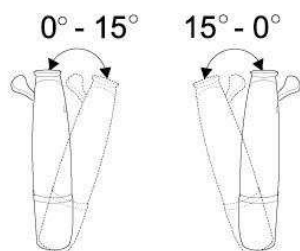
②赤い折りたたみロックがしっかり固定されていることを確認
してください。

③左写真のようにハンドルをもって本体を起こしてください。

 警告　組み立て時に指を挟まないよう注意してください。

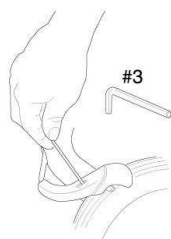
●背ベルトの取り付け方法

①ハンドルグリップ先端についているエンドキャップを
マイナスドライバーなどで取り外します。

②ハンドル側方にある背ベルト固定ネジを別袋付属の工具で
取り外します。

③別袋の背ベルトをハンドルグリップに奥まで差し込みます。

④ハンドル側方にある穴から固定用ネジを差し込み、付属の
工具でベルトが抜けないようにしっかり締めてください。

●ハンドルの高さを調節する

①高さ調節ネジを緩めます。
②肩をリラックスさせた状態で手首の位置に
ハンドルの高さを合わせた後、ハンドルが動かない
ように、高さ調節ネジを締めてください。

1(4)　2
3Nm

※ハンドル高さ調節ネジは強く締めすぎないで下さい。
締め付けは、ハンドル高さ調節後、使用者がハンドル
グリップに体重を掛け、ハンドルが押し下がらないこと
が目安です。

＊ブレーキが解除されている状態で行ってください。
＊目盛りの範囲内で調整を行ってください。
＊背ベルトを取り付けてのご使用の際、目盛りを１以上
に設定してください。
③ハンドルの高さ調節ネジを緩めると、ハンドルを平行
な状態から内側に１５度まで変更できます。
角度を変えた後は高さ調節ネジをしっかりと締めてく
ださい。

⚠ 警告　ハンドル高さ調節後は、ブレーキおよびブレーキロックが効くことを
必ず確認してください。
※ブレーキの調整方法は下記「ブレーキの調整方法」を参照ください。

●ブレーキの調整方法

ブレーキの調整を行う際は、３mm六角レンチを使用し、
ブレーキパッドの中央にあるネジを回し、ブレーキパッド
先端とタイヤの間隔を調整してください。
調整の際は、ブレーキパッド先端とタイヤの間隔は１mmを
目安とし、必ずブレーキ及びブレーキロックが効くことを確認
してください。
＊ブレーキの効きが弱い場合は左回し、強い場合は右回しで
ネジを回しブレーキ調整を行ってください。
＊上記記載の３mm六角レンチは付属しておりません。

⚠ 警告　ご使用前には、ブレーキおよびブレーキロックが効くことを必ず
確認してください。

＊万一、ブレーキ調整が不可能な場合やご不明な場合には、使用を中止しお買い求めいただいた
販売店か弊社までご連絡ください。

連絡先：ラックヘルスケア株式会社　大阪　０６－６２４４－０６３６
東京　０３－５４１９－８０５０
熊本　０９６－３４０－８１０１

使いかた

●歩行の仕方

①座面を前方に持ち上げ図のように立ちます。

②ブレーキロックを解除（ブレーキハンドルを上に引き上げる）
　します。

③両手でハンドルグリップをしっかり握ります。

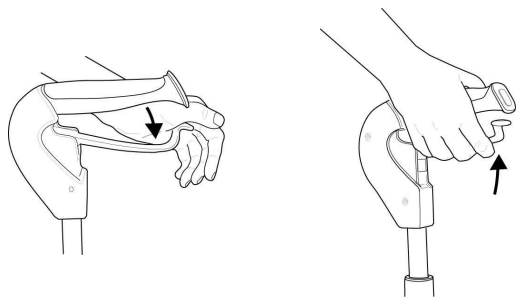
④バランスを保ちながらゆっくり歩行してください。

⑤ブレーキハンドル先端に座面が触れる場合、ブレーキハンドル
　を片方づつ握りながら座面の上げ下げを行ってください。

⚠注意　背ベルトなどグリップ以外のところは持たないでください。

警告　バスケットに乳幼児を乗せたり、座面に人を乗せたまま歩行しないでください。
バランスを崩して転倒し、ケガをさせる恐れがあります。

警告　座面に座ったまま本体を動かさないでください。
バランスを崩して転倒しケガをさせる恐れや、本体の偏った場所に過度な力が加わり破損につながる恐れがあります。

●ブレーキロックのかけかた

ブレーキハンドルをゆっくりカチッという音がするまで、下に押し下げてください。
ブレーキはロックされ、後輪が完全に固定されます。
解除するにはブレーキハンドルを引き上げてください。

⚠ 警告	ご使用前には、必ずブレーキおよびブレーキロックが効くか確認してください。

⚠ 警告	座る際はブレーキハンドルを下に押し下げ、必ずブレーキロックをしてください。また、立ち上がる際にもブレーキロックされた状態であることを確認してください。 タイヤが固定されていないと、バランスを崩し転倒の恐れがあります。

●歩行中のブレーキのかけ方

ブレーキハンドルを握り、上に引き上げるとブレーキが効きます。

⚠ 警告	ご使用前には、必ずブレーキおよびブレーキロックが効くか確認してください。

⚠ 警告	歩行中のブレーキは左右均等な力でかけてください。 前輪がどちらかに回転してバランスを崩し、転倒する恐れがあります。

●折りたたみ方

まずはバスケットを取り外してください。

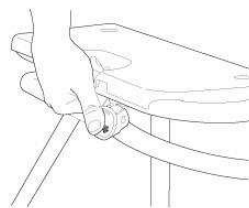
①赤い折りたたみロックを図のように押して
　ロックを解除してください。

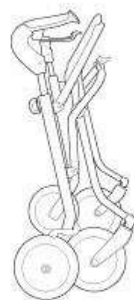
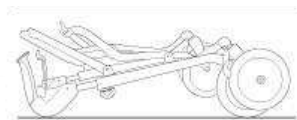
②座面中央のパイプを持ち上げてください。

③２種類の折りたたみをすることができます。

A－自立した状態での保管をする際には
　　カチッと音がするところまで折りたたみを
　　行ってください。前輪を図のような向きに
　　してください。

B－車のトランクなどに入れて搬送する際にはさらに
　　折りたたむことによりコンパクトになります。

①

②

③

A

B

 警告

折りたたんだ状態から元に戻す際、座面のパイプ部と折りたたみロック部がしっかりと固定されていることを確認してください。
固定されていないとバランスを崩し、転倒する恐れがあります。

 警告　折りたたみ時に指を挟まないよう注意してください。

 注意

保管や搬送の際、背ベルトに過度な力が加わらないように注意してください。
ベルトが破損する恐れがあります。

日常のお手入れ

●保管のしかた

＊高温になる場所には保管しないで下さい。故障や変形の原因になります。

＊直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからないところに保管して下さい。

●清掃について

＊車輪、プラスチック部品、金属部分の汚れは、水を含ませてよくしぼった布で
　ふき取ってください。ひどい汚れは薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いた後、
　水を含ませてよくしぼった布で数回拭きとって下さい。

＊本体の清掃に中性洗剤以外のものを使用しないで下さい。
　部品の変質、劣化の原因になります。

●点検について

＊製品の破損や異常を発見した場合は、ただちに使用を中止し、弊社もしくは
　お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。
　そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。

＊改造や分解はしないで下さい。故障の原因になります。

＊タイヤの磨耗、ネジ類のゆるみ、部品の破損および作動不良がないかを適時
　点検し、必要に応じて交換をして下さい。

●製品の安全性を維持する為にも、決して分解はしないで下さい。

●万一故障が生じた場合には、使用を中止しお買い求め頂いた販売店か弊社までご連絡ください。

連絡先：ラックヘルスケア株式会社　大阪　０６－６２４４－０６３６
東京　０３－５４１９－８０５０
熊本　０９６－３４０－８１０１

仕　様

《仕様》	S	M
全幅	550㎜	615㎜
全長	470㎜	535㎜
シート高	480㎜	530㎜
ハンドル高調整域	６７５～８００㎜	７６０～８９０㎜
重量	7.0㎏	7.2㎏
使用者体重	約１３５㎏	約135㎏